

# 医薬・バイオ分野のライセンス ～実務家の経験に基づく交渉ポイント～

## 東京会場

- ◆日時◆ 10月20日(金) 9:15～16:45
- ◆場所◆ 東京理科大学 森戸記念館  
(東京都新宿区神楽坂4-2-2)

## 大阪会場

- ◆日時◆ 10月6日(金) 9:30～17:00
- ◆場所◆ 大阪科学技術センター  
(大阪府大阪市西区靱本町1-8-4)

### ◆講師◆

谷 直樹氏

(ラクオリア創薬(株) 代表取締役)



他業界にも役に立つ  
ライフサイエンス特有の  
交渉ポイントを詳説!

### 《講座概要》

#### はじめに:ライセンス契約とは - その概念

#### I. 医薬・バイオリセンスの特徴とその企業戦略

#### II. ライセンス交渉のプロセスと関連する契約文書

1. 秘密保持契約書(CDA)
2. サンプル提供契約(MTA)
3. フィージビリティ契約とデューデリジェンス
4. タームシート
5. オプション契約

#### III. ライセンス契約書:基本用語と必須事項

##### 具体的事例にもとづく論点

1. 前文
2. 定義
3. 特許許諾とライセンス対価
4. 開発・企業化

5. 改良発明
6. 特許関連条項
7. 商標
8. 表明・保証 および免責
9. 秘密保持
10. 契約期間および終了
11. 一般条項

#### IV. 産官学連携におけるライセンス契約

#### V. ライセンス契約の存続とアライアスマネジメント -失敗例とそののりこえのために

※内容は一部変更となる場合がございます。予めご了承ください。

### 《申込要領》

- ◆受講料◆ 会員 13,000円 一般 19,500円

※同一の企業や事務所等から複数名受講の場合、2人目以降の受講料は、上記各金額から2,000円引きとなります。

- ◆申込方法◆ 当協会ホームページよりお申し込みください。

<http://www.lesj.org/contents/japanese/index.html>

- ◆弁理士の皆様へ◆

本講座は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。受講の上、所定の申請をしていただくと、外部機関研修として6.5又は7単位が認められる予定です。

# ライセンス・ネゴシエーション実務 ～模擬交渉(受講者実演)と講演～

## 東京会場

- ◆日時◆ 11月8日(水) 9:15～16:45
- ◆場所◆ 東京理科大学 森戸記念館  
(東京都新宿区神楽坂4-2-2)

## 大阪会場

- ◆日時◆ 11月16日(木) 9:30～17:00
- ◆場所◆ 大阪科学技術センター  
(大阪府大阪市西区靱本町1-8-4)

## 《講座概要》

本講座は、講師が用意したシナリオに基づき、参加者がグループに分かれてライセンス模擬交渉をしていたり受講者参加講座です。ライセンス交渉の疑似体験をしていただくだけでなく、他グループの模擬交渉に接することにより交渉の分かれ道での選択肢を明らかにすることで更に視野を広げていただけます。これから交渉の現場に出て行かなければならない若い方にとってポケットの中のオプションを増やす絶好のトレーニングになります。

模擬交渉の題材はバイオ関連ですが、**医薬業界以外の方々にも役立つ内容になっています。**

具体的な進め方としては、講座は4～5名毎にグループ分けして行うことを予定しており、その主な内容は次の通りになっています。

- (1) シナリオの解説と争点明確化
- (2) グループ討議(対案の策定、交渉方針協議)
- (3) グループ間の交渉実演(模擬交渉トライアル)
- (4) 講評・交渉力アップのために(講演)

## 《申込要領》

◆受講料◆ 会員 14,000円 一般 21,000円

※同一の企業や事務所等から複数名受講の場合、2人目以降の受講料は、上記各金額から2,000円引きとなります。

◆申込方法◆ 当協会ホームページよりお申し込みください。

<http://www.lesj.org/contents/japanese/index.html>

◆弁理士の皆様へ◆

本講座は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。受講の上、所定の申請をしていただくと、外部機関研修として6.5又は7単位が認められる予定です。

## ◆講師◆

高柳 昌生氏

(高柳IPマネジメント代表 弁理士)



初心者からベテランまで  
契約交渉のノウハウ、交渉力を  
身につけたい方に！

## 模擬交渉の背景:

カリフォルニアにあるバイオベンチャー、スターファーマは、新規モノクローナル抗体を発明しこれを利用する抗体医薬品の開発を目指している。彼らのビジネスモデルとしては、一部自社開発・商業化も考えてはいるが、大規模臨床試験を要求される適応症については大手の製薬会社にライセンスし当面の資金を得たうえで、併せて早期のIPOを目指している。

日本の製薬メーカー、東都製薬の目下の関心事はスターファーマの新規モノクローナル抗体にある。開発パイプラインを補強する上でかなり有望視される抗体であり、秘密保持契約を結び予備的技術評価を進めてきたがまだ結果は出ていない。そこへ、スターからのレターが届く。「来月末に京都で開かれる学会に参加するため訪日する。についてはこの機会に御社を訪問し、次のステップについての話し合いを行いたい。」と、レターには研究協力とライセンスからなる提携の基本条件のタムシートが添付されていた。

※ 内容は一部変更となる場合がございます。予めご了承ください。